

# 千秀だより

自分で考え  
表現し  
挑戦し続ける子

横浜市立千秀小学校

令和8年(2026年4月7日)



## 4月号

学ぼう わたしたちのまちのよさ

伝え合おう 未来へつなぐ 千秀150周年

～千に秀でる子の育成～ クラス名 R8

各学級で検討中です。今年度はどんな学級名が生まれるでしょうか乞うご期待です。

## 挑戦！チャレンジ！千秀小2026

校長 平島幸江



春休みに、正門のサクラが新年度の開始を待ちきれずに咲いていました。今年も、かわいらしい鳥のさえずりが盛んに聞こえてきて、また春が巡ってきたのだなと嬉しくなります。

新年度を迎え、本校は全校児童196人でスタートいたしました。振り返れば、昨年度は、児童と一緒に150周年を迎える準備に励んだ1年間でした。各学年で、「千秀のまち」の人やものから学ぶ学習が展開されました。伝統のマナビーくんをモチーフとしたロゴマーク(右上)も決まりました。クラウドファンディングで目標の一つとしたビオトープも、職員玄関前にできました。今年度も、さらに千秀のまちの人やものから学び、そのよさを伝えあい未来を創る150周年に取り組んでいきます。また、児童間の相互理解や他者理解が進むよう継続して取り組んでいきます。

さて、本校の学校教育目標は「自分で考え 表現し 挑戦し続ける子」の実現です。私は、その実現のカギになるのは、総合的な学習の時間や生活科の活動であると考えていることは昨年述べてきました。これは、今年度予定されている150周年記念事業にむけた取り組みにもつながってきます。本校の周りの風景は今も大きく変化しています。そんなまちの変化を中心に、児童の気づきを拾い上げ、活動に結びつけ、語り合う。そこから児童が深く考えを広げることができたら、周年行事を実施した意義を実感できるのではないかと考えています。

今年度の教職員体制について述べさせていただきます。今年度も各学年ブロックでの副担任制・教科担当制を継続実施します。更に、高学年ブロックでは、5、6年生3クラスを3名の教員が担任するブロック担任制に挑戦します。この体制のメリットは、3名の担任が3クラスの児童の状況を把握することで、一人の担任の抱え込みを防ぐことがあります。また、児童や保護者からの視点では、相談できる担任が増えるというメリットがあると思います。担任3名が児童情報を共有して指導にあたり、児童がより豊かで楽しい学校生活を送ることができるよう取り組んでいきます。「挑戦！チャレンジ！2026年度」の千秀小学校へのご支援ご協力をどうぞよろしくお願いいたします。